

令和 8 年産の水田における作付状況（令和 8 年 9 月 15 日時点）①

- 令和 8 年産の水田における作付状況は、飼料用米や麦、大豆等の作付面積が減少し、**主食用米の作付面積は、近年において最も高い作付水準であった令和 7 年産^(※)並み**となった。（※）令和 7 年産は備蓄米の作付けはゼロ。
- これに伴い、飼料用米や麦、大豆等は、近年において、極めて少ない作付面積となり、加えて、加工用米、新市場開拓用米及び米粉用米の作付面積も令和 7 年産から微増にとどまるなど、**非主食用米等の作付水準は低い状況**となっている。

【主食用米、備蓄米及び戦略作物等の作付状況】

（万ha）

年 産	主食用米	酒造好適米	備蓄米	戦略作物等									
				加工用米	新規需要米	新市場開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	麦	大豆	飼料作物 そば なたね	戦略作物等 合計面積
H30年産	138.6	—	2.2	5.1	13.1	0.4	0.5	8.0	4.3	9.7	8.8	10.2	47.0
R元年産	137.9	—	3.3	4.7	12.4	0.4	0.5	7.3	4.2	9.7	8.6	10.2	45.6
R2年産	136.6	—	3.7	4.5	12.6	0.6	0.6	7.1	4.3	9.8	8.5	10.2	45.6
R3年産	130.3	—	3.6	4.8	17.4	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5	10.2	51.2
R4年産	125.1	—	3.6	5.0	20.6	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9	9.9	54.9
R5年産	124.2	—	3.5	4.9	20.4	0.9	0.8	13.4	5.3	10.5	8.8	8.5	53.1
R6年産	125.9	—	3.0	5.0	17.3	1.1	0.6	9.9	5.6	10.3	8.4	7.4	48.3
R7年産	136.7	—	—	4.4	10.8	0.9	0.4	4.6	4.9	9.5	7.5	6.7	38.8
R8年産	136.0	1.7	3.6	4.5	8.6	1.1	0.7	2.5	4.3	8.5	6.7	6.1	34.4
対前年差	-0.7	—	—	+0.1	-2.2	+0.2	+0.4	-2.1	-0.6	-1.0	-0.8	-0.6	-4.4
6月末時点 作付意向との差	±0.0	-0.0	-0.3	-0.0	+0.1	+0.1	+0.2	-0.1	-0.0	-0.1	-0.1	—	—
畑地化面積	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.0	0.1	(0.3) 0.2

注 1：主食用米は、統計部公表の面積。
2：酒造好適米は、農産物規格規程（平成13年2月28日農林水産省告示第244号）に規定する醸造用玄米のうち、新市場開拓用米に該当するものを除く。
3：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
4：加工用米及び新規需要米（新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲）のR6年産以前の実績は、取組計画の認定面積。R7年産以降は取組計画の届出面積。
なお、新規需要米には、青刈り稲・わら専用稲（飼料作物として用いられるもの。以下同じ）を含む。
5：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
6：R8年産畑地化面積は、8年度に畑地化促進事業で採択された面積。また、戦略作物等合計面積欄の0.3万haについては、麦、大豆、飼料作物、そば、なたねのほか、高収益作物等を加えた面積。
7：令和8年8月千葉豪雨及び令和8年熊本地震の影響に伴い、8年産の作付状況の全国値の算出に当たって、千葉県及び熊本県の各品目の6月末時点作付意向を集計対象としており、今後、確定値を公表見込み。
ただし、6月末時点では、新規需要米のうち青刈り稲・わら専用稲、飼料作物、そば及びなたねの作付意向は非公表であったため、当該4品目の全国値の算出に当たって、両県は集計対象から除外している。
8：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

令和 8 年産の水田における作付状況（令和 8 年 9 月 15 日時点）②

【全国・北海道・東北・北陸】

都道府県					備蓄米	戦略作物等														【参考】 8年産 畑地化 面積 (ha)
	主食 用米 ①	【参考】		酒造 好適 米		加工 用米	新規 需要米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉 用米	飼料 用米	WCS用稲 (稲発酵粗 飼料用稲)	その他	麦	大豆	飼料 作物	そば	なたね	戦略 作物等 合計	前年産から の増減	
		前年産 (7年産) ②	増 減 ①－②																	
全国計	136.0万	136.7万	▲ 0.7万	1.7万	3.6万	44,948	85,964	10,893	7,354	24,952	42,722	43	85,008	67,297	39,442	20,682	611	343,953	▲ 43,971	3,268
北海道	90,500	90,400	100	504	2,567	9,529	7,043	3,090	220	810	2,923	－	26,996	13,590	5,910	4,172	427	67,666	▲ 4,503	2,609
青 森	43,100	43,700	▲ 600	235	4,096	188	2,412	397	95	1,419	502	－	389	3,894	2,351	825	2	10,061	▲ 3,647	98
岩 手	48,100	46,900	1,200	199	635	720	3,862	340	37	1,777	1,709	0	2,958	3,488	4,984	474	7	16,492	▲ 2,577	108
宮 城	65,600	65,300	300	174	3,061	1,341	4,405	467	92	1,919	1,927	0	1,889	7,790	4,279	362	－	20,066	▲ 3,918	41
秋 田	78,500	81,200	▲ 2,700	749	2,707	6,058	2,519	1,135	208	351	825	1	98	6,495	1,601	3,247	－	20,018	▲ 486	37
山 形	55,600	57,100	▲ 1,500	561	3,475	4,447	3,518	494	55	1,932	1,035	3	118	3,801	1,958	3,405	1	17,247	▲ 2,172	120
福 島	61,900	67,000	▲ 5,100	465	6,632	295	1,640	394	23	562	661	0	353	674	1,485	1,231	83	5,761	▲ 1,703	18
新 潟	104,400	108,600	▲ 4,200	1,722	5,224	7,001	3,181	1,176	797	641	566	0	221	2,787	257	664	－	14,111	▲ 1,255	4
富 山	33,400	33,700	▲ 300	708	1,525	1,428	2,285	377	338	1,068	502	－	2,367	3,067	280	288	19	9,734	▲ 1,235	1
石 川	21,300	22,100	▲ 800	223	1,467	536	315	27	126	63	98	－	867	694	29	157	－	2,599	▲ 524	－
福 井	23,900	23,300	600	561	696	616	1,041	300	155	472	113	－	4,183	41	32	493	－	6,407	▲ 1,306	－

注 1：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米の面積。
2：酒造好適米は、農産物規格規程（平成13年 2 月 28 日農林水産省告示第 244 号）に規定する醸造用玄米のうち、新市場開拓用米に該当するものを除く。
3：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
4：加工用米及び新規需要米は、取組計画の届出面積。
なお、新規需要米のうちその他は、青刈り稲・わら専用稲（飼料作物として用いられるもの。以下同じ）の面積。
5：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
6：8 年産畑地化面積は、8 年度に畑地化促進事業で採択された面積。
7：令和 8 年 8 月千葉豪雨及び令和 8 年熊本地震の影響に伴い、8 年産の作付状況の全国値の算出に当たって、千葉県及び熊本県の各品目の 6 月末時点作付意向を集計対象としており、今後、確定値を公表見込み。
ただし、6 月末時点では、新規需要米のうち青刈り稲・わら専用稲、飼料作物、そば及びなたねの作付意向は非公表であったため、当該 4 品目の全国値の算出に当たって、両県は集計対象から除外している。
8：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

令和 8 年産の水田における作付状況（令和 8 年 9 月 15 日時点）③

【関東・東海】

都道府県					備蓄米	戦略作物等														【参考】 8年産 畑地化 面積
	主食 用米 ①	【参考】		酒造 好適 米		加工 用米	新規 需要米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉 用米	飼料 用米	WCS用稲 (稲発酵粗 飼料用稲)	その他	麦	大豆	飼料 作物	そば	なたね	戦略 作物等 合計	前年産から の増減	
		前年産 (7年産) ②	増 減 ①－②																	
茨 城	67,400	66,700	700	72	500	1,092	4,283	1,273	181	2,371	458	－	3,185	606	453	421	－	10,039	▲ 1,845	27
栃 木	58,000	58,100	▲ 100	462	1,099	1,243	6,082	136	2,239	2,035	1,672	－	5,690	316	2,602	1,191	6	17,130	▲ 2,512	28
群 馬	13,900	14,700	▲ 800	32	633	297	746	16	116	142	472	－	1,261	78	147	20	0	2,549	▲ 249	16
埼 玉	29,600	30,600	▲ 1,000	31	123	43	1,846	115	1,034	597	100	－	2,212	281	162	69	6	4,617	528	1
千 葉	53,500	53,100	400	14	124	1,540	1,964	109	88	1,000	766	－	415	158	－	－	－	4,077	▲ 1,438	27
東 京	111	112	▲ 1	8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川	2,780	2,840	▲ 60	23	－	－	15	7	－	6	2	－	1	3	2	0	－	21	6	－
山 梨	4,580	4,560	20	68	－	40	50	－	16	11	23	－	32	83	13	122	－	341	▲ 35	－
長 野	30,200	30,000	200	906	217	359	522	196	33	90	204	－	2,017	467	445	1,815	0	5,624	▲ 630	15
岐 阜	21,000	20,800	200	174	102	1,080	1,632	66	78	1,206	282	－	3,504	215	533	221	14	7,199	▲ 510	5
静 岡	14,700	14,700	0	132	－	111	443	1	12	170	260	－	138	23	40	27	－	782	▲ 108	0
愛 知	25,400	25,700	▲ 300	108	229	660	1,462	41	316	978	127	－	5,028	45	152	3	8	7,359	▲ 334	－
三 重	26,000	25,700	300	150	86	135	958	93	26	550	288	－	5,977	99	198	11	4	7,381	▲ 1,053	－

注 1：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米の面積。
2：酒造好適米は、農産物規格規程（平成13年2月28日農林水産省告示第244号）に規定する醸造用玄米のうち、新市場開拓用米に該当するものを除く。
3：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
4：加工用米及び新規需要米は、取組計画の届出面積。
なお、新規需要米のうちその他は、青刈り稲・わら専用稲（飼料作物として用いられるもの。以下同じ）の面積。
5：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
6：8年産畑地化面積は、8年度に畑地化促進事業で採択された面積。
7：令和8年8月千葉豪雨の影響に伴い、8年産の作付状況の全国値の算出に当たって、千葉県の商品目の6月末時点作付意向を集計対象としており、今後、確定値を公表見込み。
ただし、6月末時点では、新規需要米のうち青刈り稲・わら専用稲、飼料作物、そば及びなたねの作付意向は非公表であったため、当該4品目の全国値の算出に当たって、千葉県は集計対象から除外している。
8：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

令和 8 年産の水田における作付状況（令和 8 年 9 月 15 日時点）④

【近畿・中国】

都道府県					備蓄米	戦略作物等														【参考】 8年産 畑地化 面積
	主食 用米 ①	【参考】		酒造 好適 米		加工 用米	新規 需要米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉 用米	飼料 用米	WCS用稲 (稲発酵粗 飼料用稲)	その他	麦	大豆	飼料 作物	そば	なたね	戦略 作物等 合計	前年産から の増減	
		前年産 (7年産) ②	増 減 ①－②																	
滋 賀	30,400	29,300	1,100	196	223	232	836	181	41	339	275	－	6,912	468	174	114	17	8,751	▲ 1,511	0
京 都	13,000	13,200	▲ 200	129	－	397	177	2	11	44	120	－	243	193	45	137	－	1,192	▲ 57	6
大 阪	4,000	4,100	▲ 100	24	－	0	7	－	1	1	5	－	1	5	0	－	－	13	▲ 2	0
兵 庫	34,000	33,600	400	4,829	－	583	1,074	45	59	190	776	3	1,616	1,252	691	87	7	5,310	▲ 551	7
奈 良	7,510	7,750	▲ 240	78	－	12	59	－	14	7	38	－	67	29	5	2	0	174	4	2
和歌山	5,610	5,600	10	11	－	－	3	－	1	2	0	－	3	7	2	2	－	16	▲ 8	－
鳥 取	12,100	12,000	100	162	76	19	680	23	0	289	368	－	81	409	710	247	－	2,147	▲ 264	6
島 根	16,200	16,100	100	199	24	104	937	0	5	324	609	0	196	379	377	245	6	2,246	▲ 320	1
岡 山	28,200	28,100	100	1,319	36	90	776	149	41	167	419	－	711	584	758	88	－	3,008	▲ 588	3
広 島	20,200	20,200	0	777	11	232	717	40	80	78	518	0	303	138	779	215	－	2,383	▲ 134	2
山 口	16,600	16,300	300	557	－	765	840	92	14	342	392	－	778	506	681	27	0	3,596	▲ 462	4

注 1：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米の面積。
2：酒造好適米は、農産物規格規程（平成13年 2 月 28 日農林水産省告示第244号）に規定する醸造用玄米のうち、新市場開拓用米に該当するものを除く。
3：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
4：加工用米及び新規需要米は、取組計画の届出面積。
 なお、新規需要米のうちその他は、青刈り稲・わら専用稲（飼料作物として用いられるもの。以下同じ）の面積。
5：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
6：8 年産畑地化面積は、8 年度に畑地化促進事業で採択された面積。
7：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

令和 8 年産の水田における作付状況（令和 8 年 9 月 15 日時点）⑤

【四国・九州・沖縄】

都道府県					備蓄米	戦略作物等														【参考】 8年産 畑地化 面積
	主食 用米 ①	【参考】		酒造 好適 米		加工 用米	新規 需要米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉 用米	飼料 用米	WCS用稲 (稲発酵糶 飼料用稲)	その他	麦	大豆	飼料 作物	そば	なたね	戦略 作物等 合計	前年産から の増減	
		前年産 (7年産) ②	増 減 ①－②																	
徳 島	10,300	10,300	0	70	62	3	260	27	4	113	116	－	32	1	70	1	－	366	▲ 127	－
香 川	10,100	10,100	0	7	－	57	355	29	8	17	301	－	1,070	18	214	8	－	1,722	▲ 42	－
愛 媛	12,900	12,700	200	28	－	42	251	－	3	89	159	－	353	204	163	1	－	1,014	▲ 247	－
高 知	10,700	10,500	200	97	3	62	584	－	18	264	302	－	2	39	104	0	－	792	▲ 273	6
福 岡	35,300	34,500	800	402	7	192	2,640	－	451	408	1,782	－	1,047	6,090	359	40	1	10,368	▲ 1,224	24
佐 賀	24,600	23,700	900	125	97	365	1,838	12	33	291	1,502	－	292	5,671	362	9	1	8,539	▲ 845	6
長 崎	9,450	9,460	▲ 10	16	－	4	1,302	9	3	44	1,244	2	81	127	1,509	32	0	3,056	▲ 282	6
熊 本	33,200	31,900	1,300	53	187	241	7,629	17	105	357	7,150	－	630	1,462	－	－	－	9,962	▲ 3,415	28
大 分	19,200	18,900	300	23	18	136	2,913	7	155	707	2,044	－	586	675	788	84	1	5,183	▲ 570	5
宮 崎	14,100	13,500	600	1	23	1,703	6,661	10	17	508	6,095	30	16	160	2,576	34	0	11,151	▲ 835	3
鹿児島	18,000	17,600	400	1	－	926	3,162	－	7	200	2,954	0	91	184	1,142	91	1	5,597	▲ 700	3
沖 縄	600	597	3	－	－	23	42	－	1	2	39	－	－	－	18	－	－	83	▲ 8	－

注 1：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米の面積。
2：酒造好適米は、農産物規格規程（平成13年 2 月 28 日農林水産省告示第244号）に規定する醸造用玄米のうち、新市場開拓用米に該当するものを除く。
3：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
4：加工用米及び新規需要米は、取組計画の届出面積。
 なお、新規需要米のうちその他は、青刈り稲・わら専用稲（飼料作物として用いられるもの。以下同じ）の面積。
5：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
6：8 年産畑地化面積は、8 年度に畑地化促進事業で採択された面積。
7：令和 8 年熊本地震の影響に伴い、8 年産の作付状況の全国値の算出に当たって、熊本県の各品目の 6 月末時点作付意向を集計対象としており、今後、確定値を公表見込み。
 ただし、6 月末時点では、新規需要米のうち青刈り稲・わら専用稲、飼料作物、そば及びなたねの作付意向は非公表であったため、当該 4 品目の全国値の算出に当たって、熊本県は集計対象から除外している。
8：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主食用米の作付面積・生産量・需要実績の推移

年 次	作付面積 (万ha)	生産量 (万トン)	需要実績 (万トン)
平成16(2004)	165.8	860.0	865.4
17(2005)	165.2	893.0	851.7
18(2006)	164.3	840.0	837.5
19(2007)	163.7	854.0	854.5
20(2008)	159.6	865.8	823.6
21(2009)	159.2	830.9	814.1
22(2010)	158.0	823.9	820.0
23(2011)	152.6	813.3	813.3
24(2012)	152.4	821.0	781.1
25(2013)	152.2	818.2	786.6
26(2014)	147.4	788.2	782.5

年 次	作付面積 (万ha)	生産量 (万トン)	需要実績 (万トン)
27(2015)	140.6	744.2	766.2
28(2016)	138.1	749.6	754.0
29(2017)	137.0	730.6	739.6
30(2018)	138.6	732.7	734.6
令和元(2019)	137.9	726.1	714.4
2(2020)	136.6	722.6	704.0
3(2021)	130.3	700.7	701.5
4(2022)	125.1	670.1	691.1
5(2023)	124.2	661.0	704.9
6(2024)	125.9	679.2	712.7
7(2025)	136.7	746.8	682.6

注1：平成16年産から平成19年産の作付面積・生産量は生産局資料、平成20年産以降は「作物統計」、需要実績は「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」による。

2：需要実績は、例えば、平成16年の行には「平成16/17年」の需要実績を記載。また、令和7年の需要実績は速報値。

3：生産量及び需要実績は、ふるい目幅1.70mmベースの数値。